



## カンボジアの子どもたちに教科書を

2015年3月

No. 52

### 当会の財政難と今後の方針

大澤 龍

当会の財政は、収入の減少に加え、円安とカンボジアの物価上昇、特に教科書の価格上昇のため大変厳しい状況に置かれています。以下に現状と今後の収支見込み、対応策についてご説明します。

#### 1 収入の減少

下表に示す通り大口寄付の終了と一般寄付・会費の減少のため、収入が大幅に減っており、①に示すように今期の使用可能予算は136万円となります。

			①	②
過去の収入の実績と 2015年度・16年度予測	2013年度実績	2014年度実績	2015年度予測	2016年度予測
大口寄付	688,705	191,000	120,000	0
小口寄付・会費他	841,405	739,368	550,000	450,000
収入合計	1,530,110	930,368	670,000	450,000
前期繰越	1,244,283	1,501,339	690,000	133,000
当期使用可能予算	2,774,393	2,431,707	1,360,000	583,000

#### 2 今期の収支見込みと対応

一方、前期同様の活動をした場合の収支見込みは、1ドル120円を前提とすると下表①のように期末には赤字となり破産いたします。

	①	②	③	④
	2015年度支出 (2014年度並み事業)	2015年度見直	2016年度	2016年度改
カンボジア固定費	480,000	480,000	480,000	120,000
カンボジア事業費	832,000	533,800	0	188,000
日本固定費	25,000	25,000	25,000	25,000
日本事業費	235,000	188,000	188,000	188,000
合計	1,572,000	1,226,800	693,000	521,000
期末収支見込み	<b>-212,000</b>	133,200	<b>-110,000</b>	62,000

そのため ②カンボジアの事業を大幅に縮小し、国内事業も経費の節減を図ることにしたいと考えます。

事業縮小の内容は以下の二項目です。

- ・教科書支援をクメール語のみとする
- ・幼稚園の支援(教員給与・通園車両費用)を5月以降中止する。

非正規識字学校の支援はそのまま継続します。

国内経費についてはニュースレターの送付先の見直しを行い、送付数の低減を図ります。

### 3 2016年度以降

③に示すように、仮にカンボジアの事業を全て中止しても、2016年度末には赤字になるため、④のようにリティさんとの雇用契約を大幅に変更してカンボジア固定費を減らし、事業は教科書支援を止め、非正規識字学校に絞って支援を続けたいと考えます。

教科書支援・幼稚園支援は、本来、カンボジア政府が費用を負担すべきところを、当会が肩代わりしてきたという経緯がありました。この依存体質を解消すべく、種々現地での収入向上策も提案して参りましたが、反応は鈍く成果は上がりませんでした。

一方カンボジアの経済状況も向上しており、教育関係予算の増加も見込まれるため、この二つの支援を中止するのは現地自立の観点からも良い時期ではないかと考えております。

一方非正規識字学校はその性格上、政府の援助を受けられるものではないため、当会の支援がないと閉校となってしまいます。しかしながらこれまで修了生がほぼ全員中学に進学するという素晴らしい成果も上がっておりますので、ここには可能な限り支援を続けたいと考えています。

なお、国内の事業費は広報のためだけでなく広く一般から募金を得るためでもあり、掛かる費用に対し収入が上回っているので継続したいと考えます。

また国内の固定費は事務用品、インターネット費用が主なものでこれ以上の節減は困難です。

当会ではこれまで日本国内での募金、フリーマーケット出店等種々の収入増の努力も試みてまいりましたが、現在の当会の組織力では抜本的な解決には至っておりません。

もちろん収入増加の努力は今後も続けて参りますので、ご支援の継続をよろしくお願い致します。

## カンボジア便り

### 市井秀和

今年度も11校の小学校への教科書の支援を実施しました。リティさんは現在すべての学校を順次訪問して、子どもたちへの教科書配布状態を確認しています。これまでのところ学校への登録の遅かった子どもの一部に、まだ教科書が届いていないケースがありましたが、基本的にすべての子どもに教科書を提供することができます。登録が遅れて教科書を受取っていない子どもには、予備の教科書を渡すように話をしています。



一方ルセイサン幼稚園では、学期の初めには35人ほどだった生徒数が、50人程度にまで増えてきており、たくさんの子どもが皆元気に学んでいます。

また日本からの指示により、幼稚園の先生と子ども達の送迎に使用していたトゥクトゥクの運転手さんとの契約は、4月30日で解除する旨の契約を2月24日付で取り交わしました。



写真は教科書を受取って

喜ぶ生徒たち



(写真下)

最近訪問した幼稚園の様子



## ボランティアさんの感想

### ニュースレター発送のボランティアに参加して

高校生 荻野レティシア

ボランティア、それも学校の枠を超えての活動に参加することは、私にとってかなり勇気のいることでした。

「課外活動をすることで視野が広がるのではないか」との親の一言をきっかけに、募集中のボランティアを探していたところ日韓アジア基金のページを見つけました。その国際的な活動内容に興味をそそられた私は、すぐさま応募しました。

当日、作業を開始する前に一人一人に自己紹介の時間が設けられました。中学生から社会人まで、幅広い世代の方が参加されており、自分と違う年代の方々の話を聞く機会はあまりないので、非常に興味深かったです。作業内容は「簡単な作業ですから誰でもできます」とボランティアの募集ページ



にも記載されていた通り、寄付してくださった方にお礼のメッセージを書きそれを封入する、という至ってシンプルなものでした。カンボジアという遠い国の問題を身近に感じる機会は少ないかもしれませんが、しかしそれでも寄付して下さった方々に、寄付して良かった、また力になりたい、と思っただけでいいことで継

続的な支援にもつながるので、この様な形でお礼の気持ちを伝えることはとても大切だと感じました。

また、この大切な作業に対して程よい緊張感を持ちながらも、アットホームな空間がゆえにリラックスして作業を行うことが出来ました。

私は初対面の方相手に消極的になってしまう傾向があるので、最初は楽しみよりも不安の方が大きかったです。しかしスタッフの方、そしてボランティアの皆さんの暖かさのおかげで、短くも楽しく、且つ有意義な時間を過ごすことが出来ました。また機会がありましたら是非参加させて頂きたいです。

## ボランティアを通じて

会社員 吉田 一仁

朝日が昇るのもゆっくりになり、年の瀬もいよいよ差し迫った、師走の日曜。朝ごはんもほどほどにいそいそと飛び出した私は日韓アジア基金のボランティアに参加するべく千石駅に向かった。

普段は電話でブロードバンド回線の営業をしているが、色々な人と接するのが好きなこともあり、時間がある週末にはボランティア募集をしている団体を訪ねて行って、仕事を手伝いがてら、他の参加者やその団体のスタッフの方と会話をしながら見聞を広めているのだった。

今回お訪ねした日韓アジア基金でも、ボランティアの募集をしているのを聞き、早速応募して伺った。当日は大変よく段取りされていて、作業に徹底できるように、ボランティアの面々が手持無沙汰にならないように仕事をうまく割り振りして下さった。

日韓アジア基金のボランティアの参加者は様々で、中高生、大学生、フリータ

一から会社員、主婦やシルバー世代まで幅広く、それぞれがそれぞれの目的をもって参加しているようだった。

作業の内容はニュースレター資料の発送準備だった。作業としては単純でわかりやすく、ボランティアが初めてという方でも、特別問題なく作業できた。

スタッフの方々がすごく暖かい空気を作ってくれ、はじめは初対面同士で若干緊張気味だった参加者のそれぞれの表情が、次第に柔らかくなっていくのがよく分かった。

作業は3時間ほどで終わり、そのあと近くのイタリア料理店で希望者がそろって昼食をとった。



協力して一つのことを達成した後の笑顔が素敵です

それぞれの好きなものの話や仕事の話、今勉強していることや関心があることなど、ゆっくり食事

しながらお互いのことを話す。

残念ながら今日しか会わないかもしれない方や、今後何かのご縁でつながっていく方もいるだろう。そういう風に思いながらひとつひとつの瞬間を楽しむのが私は大好きだ。

本日の参加者の中には繰り返し参加されている方もいるようで、なるほど居心地のいい場所なのである。また日韓アジア基金のボランティアとして参加したいと思った。

12月の20日にも年に何度か開催される「ビビン（韓国語で混ぜる）の会」という日韓アジア基金主催のイベントもあるようで、毎回何十人という規模で開催される交流会のようだ。

今回は仕事の都合で私個人は参加できないが、ボランティア以外にもビビンの会等、複数のイベントも行っているようなので、またHPなどを確認してぜひ伺わせてほしいと思う。

本日は有意義な時間を本当にありがとうございました。

## 第 21 回ビビンの会に参加して

田崎美里

ビビンの会には年齢や職業を問わず、日本人と韓国人を中心に様々な方が参加し、生まれた国も環境も考え方も違う今日その日出会った人々が、テーマに沿ってディスカッションしたり、ゲームを楽しんだりします。

前回参加してみて感じたことですが、時間を共有しながらお互いのw国や考えに耳を傾け、理解を深めて行く過程が日常では無い経験で、私にはとっても新鮮で有意義な時間であり、数か月前から今回の会の開催を待ちわびておりました。



今回の会でも参加した日韓の学生の話聞くのも楽しく、日本で働く外国人の話聞くことが出来たのもとても貴重な体験でした。彼らは日本という国を今まで私が見ていた角度とは違う角度で見ている、そういう見方もあるんだなと感心しながら、改めて日本と言う国をじっくり考える良い機会となりました。

短い時間ではあったものの、互いの考えや思いを共有し有意義

に過ごせるこの会にこれからも参加して行きたいと思いました。



## 2014年度年次総会開催のお報せ

表題の件、下記の通り開催致しますので活動会員の方はふるってご参加下さい。  
なお、議決権はございませんが、賛助会員・ご寄付を下さっている方も参加可能です。  
日時:2015年3月21日(土) 13時30分～14時30分(予定)  
場所:アジア文化会館地下ホール

当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

### 2014年12月7日 ニュースレター51号 発送作業

荻野レティシア・桑本巖・小山卓也・山藤瑠子・柴田啓介・土田花菜・土田弓恵・中島茉鈴・堀越大士・吉田一仁(10名)

### 2014年12月20日 ビビンの会 スタッフ

新井利延・小森新・ジョンサンヨン・田崎里美・福島未来(5名)

### 2015年2月28日 文京国際フェスタ ブーススタッフ

阿部恵美・李ヒョンジュ・亀山明日香・佐々木望・関場郁恵・田之畑諒・長谷川莉加・濱本瞳・柳沙綾・若松晴美(10名)

2014年12月5日～2015年2月24日に会費・ご寄付を下さった方 (敬称略・五十音順・除く別枠)

王 嶺	高木 修	丹下 誠司	中村 節子	堀川 泰義	丸山 芳彦
姜 柄日	高橋 周孝	チラタ会	西川 真衣子	堀場 秀亨	山口 忠正
神戸 博子	高柳 直正	佃 吉一	藤井 幸子	松田 明美	山本トシミ
佐藤 和之	伊達 幸輝	匿名	藤井 陽子	松本 博一	柳 明姫
曾根 文子	田中 慶子	中田 邦雄	堀内 和子	丸山 美津子	若宮 康夫

Swedish Lifestyle株式会社

日本聖公会 川越キリスト教会

ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)  
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)  
法人会員:年会費 1口10万円  
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便振替口座>

口座番号 00180-25153  
口座名 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権があります。
  - ・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。
- ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内  
Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)  
E-メール: [jkaf@iloveasia2.sakura.ne.jp](mailto:jkaf@iloveasia2.sakura.ne.jp)  
HP: <http://www.iloveasiafund.com>

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也